

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	スローツーリズムエリア創造支援事業(22新規)	会計	一般会計	事業No.	488	施策順No.	72-006
		事業種別	政策・重点	予算科目	7-1-4-13-14		
政策	7 自立・連携した地域づくり				課等名	観光課	
施策	72 自立に向けた住民組織力の向上	事業期間	開始	22	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	中山間地域龍江地区						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		スローツーリズムの適地(天龍峡を含む今田平周辺)				1	1	
	意図	地域資源を活用したモデルエリアの創出						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	エリア内で住民組織によるツアー企画やイベントを考える(回)				3	3	2	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	環境整備については、地域運営の基本方針である龍江21構想に即して整備箇所を決定すると共に、作業にも地元住民が参加し、地域づくりの一つとして住民が参画する機会にできた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	中山間地域龍江の今田平周辺は、JR天竜峡駅、農産物直売所、農業生産法人など地域資源を活用できる社会的条件が整っている。また、地域の人々が支える今田人形や、桜街道活用事業が行われているほか、平成21年度まで実業団自転車レースが開催されていた。吟行適地宣言をした天龍峡と合わせて、スローツーリズムを推進する適地として、エリア内の地域資源の活用研究支援、環境整備、ツアーの企画支援を行う。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 エリア内の地域資源の活用研究支援 (1) 龍江地区との打合せ (2) 天龍峡観光再生プロジェクトと連携した打合せ (3) ウォーキング(サイクリング)コースの選定 (4) ウォーキング(サイクリング)マップ印刷 2 環境整備 (1) ウォーキングルート歩行用の橋整備支援 3 情報発信 (1) ホームページでの紹介	1(1) 打合せ回数 (2) 打合せ回数 (3) コース選定数 (4)印刷数 2(1) 整備箇所数 3(1) ホームページ紹介件数	1(1) 3回 (2) 1回 (3) 1コース (4) 2,000部 2(1) 1箇所 3(1) 1回
23年度実施計画	1 天龍峡観光再生プロジェクトに参加し、連携した打合せ 2 天龍峡を含めたウォーキング(サイクリング)コースの選定 3 ウォーキングコースマップホームページ用データ作成 4 ウォーキングコースマップ印刷 5 その他 (1) エリア内イベント支援研究 (2) 農産物施設への立ち寄り促進、おもてなし企画等の情報発信協力	1 打合せ回数 2 コース選定数 3 データ作成数 4 印刷数 5(1) ホームページ紹介件数	1 2回 2 2コース 3 2件 4 2,000部 5 2回

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		600	378	475		
計(A)		600	378	475		
正規職員所要時間			80			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			286			
トータルコスト A+B			664			

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・市議会や市政懇談会において、中山間地域における高齢化、若者流出による人口減少の現状及び地域自治の運営を危惧する質問や意見、飯田市に対する対策を求める声が多く寄せられている。 ・地域に眠っている観光資源を開発し、地域の特性にマッチした新たな展開をするための人材(団体)育成が求められている。 ・龍江地区内では、地域が主体となって桜街道を活用するイベントが始まっている。また、地区内のウォーキングコースの整備なども行われている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	住民組織が地域で考え地域で活動し、役割を果たせる組織となる。	施策の成果指標又はムトス指標	観光消費額(億円) 経済自立度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しまし たか	4年間の振 り返し	今田平周辺の観光誘客促進に向けた環境整備では、龍江地域まちづくり委員会が策定した第3次龍江21構想を基に整備箇所を決定した。整備時には地元まちづくり委員会の費用負担や住民による作業が行われ、行政任せでない整備となった。また、天龍峡周辺の観光誘客促進にむけたウォーキング(サイクリング)マップづくりでは、地域からの情報提供を受けることで、地元の意見を反映させることができた。		
	後期に向 けた課題	平成23年度以降は、より観光誘客の側面を強めるため、地元住民による天龍峡観光再生プロジェクトに参加して事業を検討する。また、観光課天龍峡活性化係と連携しながら事業を進めていく。		
この事務事業 の成果を向上 させるためにど のような工夫を してきましたか	4年間の振 り返し	龍江地域まちづくり委員会が策定した第3次龍江21構想を基に整備箇所を決定し、地元住民が描いたまちづくりに沿った整備とし、地元まちづくり委員会と打ち合わせる中で、費用負担等をいただいた。天龍峡周辺の観光誘客促進にむけたウォーキング(サイクリング)マップづくりでは、地域資源の再発見や掘り起こしのため、地域から情報提供を受け地元からの意見も取り入れた。地域住民が主体の事業となるように、行政としては、必要最低限の関与に留めた。		
	後期に向 けた課題	地元の意見を取り入れるため天龍峡観光再生プロジェクトとの連携を強化する。また、住民と行政の役割分担を確認しながら連携していく。		
コストを削減す るためにどの ような工夫をし てきましたか	4年間の振 り返し	観光誘客促進に向けた看板設置において、地元まちづくり委員会で県の元気づくり支援金を活用するなどして、地元でも財源確保に努め、市費の削減に繋がった。		
	後期に向 けた課題	事業内容について天龍峡観光再生プロジェクトで十分検討し、重複部分を削減していく。また、地域と行政の役割分担をしながら費用削減についても協議し、工夫していく。		
受益者負担の 程度、市が関 与する程度は 適切でしたか	4年間の振 り返し	今田平周辺の観光誘客促進に向けた環境整備において、地元まちづくり委員会による費用負担や地元住民による作業をいただき、住民だけでは出来ないことについて、市が支援を行っており、受益者負担の程度・市の関与の程度共に適切であったと考える。		
	後期に向 けた課題	事業内容について、天龍峡観光再生プロジェクト等で十分協議すると共に、行政が支援することを十分に議論して、地域と行政の役割分担を確認しながら事業を進める。		
多様な主体の役割 の発揮状況 ①その主体は誰で、 どのような役割を果 たしましたか。 ②その主体が役割を 発揮するために、行 政はどのような働き かけをしてきました か、又は、配慮して きましたか)	4年間の振 り返し	龍江地域まちづくり委員会が主体となり、地域で策定した「第3次龍江21構想」に基づき、今田平周辺の観光誘客促進に向けた環境整備箇所を決定し、費用負担や住民による作業をいただいた。天龍峡周辺の観光誘客促進にむけたウォーキング(サイクリング)マップづくりでは、地域資源の再発見や掘り起こしのため、地域から情報提供を受け地元の意見も取り入れるなどして地域住民主体の事業運営ができた。行政としては、地域住民だけでは出来ないことへの支援を行ってきた。		
	後期に向 けた課題	今後も地域住民が主体の事業となるよう心がけ、地域住民が出来ることと行政が支援することを十分に議論して、地域と行政の役割分担を確認しながら事業を進める。		
全体を通じて	4年間の振 り返し	龍江地域まちづくり委員会が策定した「第3次龍江21構想」に基づき、今田平周辺の観光誘客促進に向けた環境整備箇所を決定し、費用負担や住民による作業をいただいた。天龍峡周辺の観光誘客促進にむけたウォーキング(サイクリング)マップづくりでは、地域資源の再発見や掘り起こしのため、地域から情報提供を受け地元の意見も取り入れるなどして地域住民主体の事業運営となった。		
	後期に向 けた課題	対象地区としては、天龍峡エリアを面で捉え、川路地区や竜丘地区の一部も含めて事業を行っていく。今後も地域住民主体の事業となるよう、地区で策定した基本構想等に沿って、地元が描くまちづくりの姿と整合性が取れるよう、まちづくり委員会等と協議しながら事業を進める。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要があるかどうか	ない	対象や意図を修正する必要があるかどうか	ある	成果指標や指標値を修正する必要があるかどうか	ない
-----------------------	----	---------------------	----	------------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--